

科 目	必・選	担 当 教 員	学 年 ・ 学 科	単 位 数	授 業 形 態						
マルチメディア工学 (Multimedia Engineering)	選	若野 憲一郎	5 学年 電気情報工学科	学修単位 1	後期 週 2 時間						
授業概要	マルチメディアの概念、マルチメディアシステム、マルチメディア技術について基本的な事柄を学習する。講義内容に対応した演習・課題(レポート等)を自宅学習として実施する。										
到達目標	(1)マルチメディアの概念、および、そのシステムの概要を説明できる。(C) (2)マルチメディア処理およびコンピュータグラフィックスの基本的技術を理解し、説明できる。(C)										
評価方法	定期試験と小テスト (50%) および、演習・課題 (50%) で評価する。										
教科書等	[教科書] 小舘香椎子「マルチメディア表現と技術」丸善株式会社										
内 容	(15週間で実施する。なお、1回の自宅演習は200分を目処にする。)				学習・教育目標						
第 1 回	マルチメディアとは	オリエンテーション、マルチメディアの概念	(自宅演習)	C-1							
第 2 回	マルチメディア処理	テキスト処理、コード、音声処理	(自宅演習)	C-1							
第 3 回	〃	音の表現、画像処理、色の表現	(自宅演習)	C-1							
第 4 回	〃	コンピュータグラフィックス	小テスト (自宅演習)	C-1							
第 5 回	入出力装置 (1)	入力装置、メモリ	(自宅演習)	C-1							
第 6 回	入出力装置 (2)	出力装置	(自宅演習)	C-1							
第 7 回	光通信	光通信ハードウェア・その他	(自宅演習)	C-1							
第 8 回	マルチメディアの利用	マルチメディア技術の利用・まとめ	(自宅演習)	C-1							
(特記事項)	JABEEとの関連										
	JABEE	a	b	c	d1	d2a) d)	d2b) c)	e	f	g	h
	本校の学習 ・教育目標	A	A	C-1	C-1	C-2	B	B	D	C-3	B
				○	◎						

1. 合格ラインについて、特に記載の無いものは、60点以上を合格とします。

2. 定期試験について、特に記載の無いものは、評価配分を均等とします。(【例】年4回定期試験を実施した場合の各定期試験の評価配分は、特に記載の無いものは、25%ずつになります。)

第1週

マルチメディアの概念とそれを支える技術の概要を述べる。

第2週～3週

マルチメディア処理 : マルチメディアシステムをどのように実現しているかをみていく。

テキスト処理 : コード、フォントについて

音声処理 : 音の表現 (デジタル、アナログ) 、音の高さ、音色

画像処理 : 色の表現、画像表現、データ量、動画像、色変換など。

第4週～5週

コンピュータグラフィクスにおける画像処理の基礎的な技術を説明する。

モデリング法、シェーディング、マッピングなどについて述べる。

第6週～8週

マルチメディアシステムの入出力機器のハードウェア、レーザー、光通信などについて学習する。

第9週

マルチメディアシステムを支えるハードウェア、マルチメディアシステムの利用について、いくつかの例をもとに説明する。